

2016年1月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical therapy Association
News

P

1

2016
January
No.266

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 渡邊 観世子

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

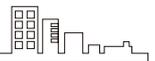
[27.12.1現在]

4,647名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶新年のごあいさつ P3▶会長行動報告 P4▶活動報告
 P6▶会員ライフサポート部活動報告54報 P9▶学会情報 P11▶賛助会員の紹介
 P12▶研修会・講習会 P14▶information P15▶スポーツ現場の独り言 P16▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



笑顔をあきらめない、を支えたい

介護老人保健施設めぐみの里

リハビリテーション部長 安藤 岳彦

「笑顔をあきらめている」のだと思います。程度の差こそあれ、どの患者さんも、利用者さんも。そしてときに、自分たち理学療法士も。ベッドサイドや機能訓練室で希望を聴取したとき、「特にありません」という返答を経験したことはありませんか。生活期の現場に携わる自分は、これをよく経験します。「ない」のではなく「なくても済む価値観・環境で生活している(あきらめている)」ということ、ですよね。

昨年4月の介護報酬改定は、リハビリテーション(以下、リハ)の活動と参加に焦点をあてる、リハ専門職にマネジメントを求める、そして介護予防・健康増進への参画を促す、というものでした。このうち、活動と参加に焦点をあてるとは「希望や目標を大切にすること」でもありました。興味・関心を把握しよう、心身機能だけでなく生活目標を挙げよう、と。

2025年、皆さんの勤務地、あるいは居住されている地域はどんな状況でしょうか。2010年と比較した年齢階級別人口の伸び率推移では、75～84歳は1.39倍、85歳以上は1.92倍とされています。85歳以上とは、現在、全人口の3%に満たないにも関わらず入院患者の22.1%を占め、介護サービス受給者の49.3%を占めている世代ですから、これからの医療、介護ニーズの急増が予測されます。当然、独居や夫婦のみ世帯、認知症症状のある高齢者も増えることとなります。中でも神奈川県は今後、全国を上回るスピードで超高齢社会へ移行するとされています。もちろん、同じ県内であっても市区町村により状況は大きく異なりますし、同じ市区町村内であっても地区により異なります。一方で生産年齢人口はというと、今後も減少が続く見込みであるわけですから…。活動と参加の実現はこれまで以上に困難なものとなり、希望や目標は隠れていくのかも知れません。そうすると、ますます笑顔はあきらめられてしまうのでしょうか。

理学療法士にはいま、マネジメントと地域支援事業、

国民の健康増進への参画が求められています。そしてこの分野において、我々は自らの専門性や経験を活かすことができます。自分が所属する通所リハ事業所では、すべての新規利用者さんに短期集中的なリハ・マネジメントIIを実践し、地域における自立支援を推進しています。高齢介護課の方々と、地域リハ活動支援事業に向けた準備会議を進めています。神奈川県理学療法士会では、理学療法フェスタの開催や大磯チャレンジフェスタ、港よこはまツデーマーチなどでのメディカルサポートを実施しています。このような健康増進イベントの中で我々ができることは、単なる体操指導に留まらず、例えば握力、下肢筋力、FRT、TUG、10m歩行速度の測定と年齢平均との比較、統合・解釈、そしてフィードバック、自己管理のためのプログラムやコンディショニングに関する助言・提案です。とにかく対象者の方々に喜んでいただける。たくさん「笑顔」に触れられる。いただく感想はいつも「こんな風に体のことを専門的にみて、助言していただいたのは初めて」「テレビや雑誌でいろいろな情報を見るけど、自分に必要なものが分からなかった」ということ。そして決まって「あなたたちのような専門家に相談したいときはどこに行けば良いのか?」と聞かれます。

地域でも、健康増進の分野でも、潜在的なニーズは非常に多い。ただ我々が十分に参画していなかっただけなのだと思います。皆さんの勤務先を、地域の側から眺めてみてください。「地域」を中心に置いてみてください。きっと、自分たちにできることが見えてきます。

理学療法士を目指したのは「笑顔のキッカケになれたら」という思いからでした。だからこそ、患者さん、利用者さんには笑顔をあきらめて欲しくない。「(希望は)特にありません」のままでいて欲しくない。地域に寄り添い、生活に寄り添い、そこで暮らす人たちの「笑顔をあきらめない」を支えたいと感じています。

会長挨拶

新年のごあいさつ

公益社団法人神奈川県理学療法士会 会長 林 克郎

新年にあたりご挨拶を申し上げます。

昨年2015年（平成27年）は、皆さんにとってどんな年でしたでしょうか。流行語大賞では「爆買い」が年間大賞に決まりました。こんな言葉が流行ることを10年前にだれが予測できたでしょうか。10年前にiPhoneは存在していなかったのが、今では携帯電話を持つ人の方が珍しい状況であり、10年後にはスマートフォンすら珍しくなっているかもしれません。「10年ひと昔」といった当時とは、その速さが格段に違うのかもしれませんが、この早い時代の流れを牽引していくようにしていきたいものです。

さて新年を迎え、公益社団法人神奈川県理学療法士会が優先して取り組んでいく事業は、ブロック組織の定着化です。本会の10年後を予測することは困難ですが、2025年（平成37年）は確実に訪れます。昨年からスタートした県内のブロック化事業は、2025年への準備に乗り遅れないことで、10年後の県内の理学療法士並びに本会の社会的認知、社会的役割を確実なものとしていく重要な取り組みと考えています。科学的根拠に基づいた活動を実践している理学療法士の能力を、地域の中でいかに発揮できる環境づくり、これがブロック化の目標です。県内のブロックは2次医療圏を基本に、表のように12ブロックに分かれています。それぞれのブロックにはブロック長とブロック担当理事が決まっており、その方

ちを中心にブロック組織が形成されていくこととなります。ブロック長の選任にあたっては、各地域で開催されている勉強会等の中で検討していただきました。ブロック長によっては厚意による暫定的な方もありますが、すでに市区町村より、介護予防事業や地域包括ケアシステム構築に関する事業への理学療法士参加のリクエストが本会に届いており、こうした行政の動きに遅れないよう、地域で活躍されている理学療法士に行政等との窓口の役割をお願いしました。今後は、介護予防研修や地域リハ関連の研修会に参加された方を中心に、行政等のリクエストに応じ理学療法士を推薦させていただく予定です。ブロック長から推薦の打診があった際は、是非ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

新年にふさわしいメッセージをと思いながら、皆様へのご報告とお願いになってしまいました。この原稿を書いている2015年12月は、本会の2016年度の予算作成のタイミングとなっております。今年の干支である「申」の文字通り、伝えるべきことはしっかりと互いにもの申し、皆様と共に会員にとってより役に立つ掛け替えのない組織に育っていくことを願い、皆様のますますのご健康とご活躍をご祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



Daiwa House.
大和ハウスクレブ

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

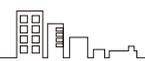
ロボットスーツ HAL® 福祉用は、
全国で約 250 台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中！

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
ヒューマン・ケア事業推進室 ロボット事業推進室





ブロック割担当表

2015,12,07

ブロック名	市区町村	施設勤務 会員数	ブロック長（所属）	担当理事	
横浜北部	鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区	684	永堀造男（横浜新緑総合病院）	山崎	久保木
横浜西部	西区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区	471	三富佑哉（横浜旭中央総合病院）	久保	
横浜南部	中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区	404	上杉 上（横浜市立大学附属病院）	佐藤	
川崎北部	高津区、宮前区、多摩区、麻生区	262	木下尚久 （新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里）	炭・隆島	
川崎南部	川崎区、幸区、中原区	214	手塚純一（川崎幸病院）		
相模原	緑区、中央区、南区	290	中田 裕（さがみリハビリテーション病院）	渡邊	
横須賀・三浦	横須賀市、三浦市	155	渡部政司（横須賀共済病院）	惣田	
鎌倉	鎌倉市、逗子市、葉山町	193	黒水俊吾（大船中央病院）	小山	
湘南東部	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	238	渡邊宏樹（湘南藤沢徳洲会病院）	坪内	
湘南西部	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町	302	安藤岳彦（介護老人保健施設めぐみの里）	内田	
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村	377	湯田健二（海老名総合病院）	大槻・相馬	
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	133	前田大助 （機能訓練特化型ディサービス楽動）	相川	

(敬称略)



月	日	内容	場所
9月	1日(火)	第6回常任理事会	事務所
	2日(水)	全国老健大会レセプション	インターコンチネンタルホテル
	3日(木)	全国老健大会開会式	パンフィコ横浜
	10日(木)	地域組織対策本部会議	事務所
	11日(金)	(公社)日本理学療法士協会、臨時士会長会議	TKP 田町カンファレンスセンター
	12日(土)	関東甲信越ブロック協議会士会長会議	アピオ甲府
	12日(土)	第34回関東甲信越ブロック理学療法学会開会式、表彰式	アピオ甲府
	15日(火)	第4回事業運営会議	事務所
	16日(水)	表彰員会会議	事務所
	16日(水)	神奈川県病院医療関係団体連絡協議会	県民ホール
	28日(月)	地域組織対策本部会議	事務所
	29日(火)	神奈川県医療専門職連合会理事会	OT 士会事務所
	30日(水)	事務処理	事務所
	10月	3日(土)	神奈川リハビリテーション研究会
6日(火)		第7回常任理事会	事務所
12日(月)		(公社)日本理学療法士協会オリ・バラ対策本部、地域理学療法士会	田町カンファレンスルーム
20日(火)		第5回事業運営会議	事務所
21日(水)		神奈川県介護人材確保対策推進会議	ロイヤルホール横浜
26日(月)		地域組織対策本部会議	事務所
27日(火)		神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会相談役会	本会事務所
11月	31日(土)	ブロック長会議	事務所
	4日(水)	藤沢市健康増進課	藤沢市保健所
	5日(木)	関プロ学会準備委員会	横浜リハビリテーション専門学校
	11日(水)	第8回常任理事会	事務所
	16日(月)	神奈川県医療専門職連合会理事会	OT 士会事務所
	17日(火)	第4回理事会	事務所
	18日(水)	湘南地域リハビリテーション研究会	湘南藤沢徳洲会病院
	28日(土)	介護従事者研修会	横浜国立大学
	30日(月)	横浜市西北部ブロック勉強会	緑区区民文化センター

活動報告

神奈川県公衆衛生協会会長表彰

炭 孝昭 (太田総合病院)



受賞された炭 孝昭氏 (太田総合病院)

神奈川県保健衛生表彰

神奈川県知事表彰

齋藤 幸広 (藤沢市民病院)



受賞された齋藤 幸広氏 (藤沢市民病院)

神奈川県保健衛生表彰

平塚保健福祉事務所長表彰

大島 奈緒美 (ふれあい平塚ホスピタル)



受賞された大島 奈緒美氏 (ふれあい平塚ホスピタル)



横須賀市 第3回在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会 参加報告

横須賀市立市民病院 理学療法士 井上 宜充

平成27年11月1日に横須賀医師会・横須賀市主催のもと標題の多職種研修会が開催されました。リハビリテーション職種では横須賀市内勤務の理学療法士7名と作業療法士1名が参加し、全体では医師、歯科医師、地域包括支援センター職員、ケアマネージャー、医療相談員、看護師、薬剤師、栄養士、歯科衛生士らが総勢62名参加していた。後援は国立長寿医療研究センター、協力として東京大学高齢社会総合研究機構によりカリキュラムが組まれている研修でした。内容は「講義・事例検討・ワークショップ」で構成されており、地域で働く多くの職種が集い活発な議論がされていました。

各自治体において、地域包括ケアシステムの構築が進んでおり同様の研修会が開催されていることと思います。横須賀市でも大小さまざまな多職種連携推進のための機会が設けられており、私もこの1年間に4回ほど参加することができました。高齢者の在宅療養を多職種で連携して支えること、病で入院しても再び住み慣れた環境に安心して帰るための支援をすることの重要性は誰もが理解できるところであり、理学療法士にとって重要な使命とも言えます。横須賀市の取り組みには企画をされた担当者の方々の熱意を感じ、また、参加者の活発な意見交換から私が頂いた刺激は理学療法士の役割や将来像を考えるために大切なものでありました。

私は急性期病院で勤務する理学療法士です。患者さんのみならず地域の高齢者の生活を支えるためには、ごく一端を担うにすぎませんがそれは誰もが同じことです。勤務場

所、職種…などの垣根は関係無く、多くの職種が協働して地域・社会を支えているのです。

本研修の効果を最も感じることは後日のことでした。ワークショップで私が同席した診療所の医師（在宅医）は過去に訪問リハビリ依頼をした経験が無い（存在も知らなかった）と話されていましたが、研修での出会いがきっかけとなり同席の訪問リハビリスタッフの事業所に訪問リハビリ依頼をしたと聞きました。研修の中で顔を合わせ、お互いの事を知ることによって具体的な連携の形になったのだと思います。これは、小さな連携の一步かもしれませんが、とても価値ある一步です。このような地域のための一つ一つの連携の積み重ねが今後も広く行われることを願います。

（写真は横須賀市からご提供いただきました。）



現在のがん治療に合わせて進化した
アフラックの新しい「がん保険」

青いダック

生きるための
がん保険 Days

ちゃんと考える人に。
新登場。

ちゃんと応える
医療保険
NEVER

マラ・ロスワン アフラックダック

お問合せ先

募集代理店 **国際保険株式会社**

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

0120-5931-98

引受保険会社
Aflac

首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿1-23-7新宿ファーストウエスト17F TEL.03-3344-1580

アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数
No.1

平成25年度「インシディアランス生命保険統計」

活動報告

平成27年度研修会&交流会報告

ライフサポート部 清川恵子

会員ライフサポート部
活動報告
職場環境を考える

第54報

平成27年7月4日、ウィリング横浜にて毎年恒例の研修会&交流会を開催いたしました。内容は「今こそ聞こう！ウイメンズヘルスとライフ・ワーク・バランス」という子育て世代が興味を持ちやすいテーマといたしました。また、今回の募集は会員のみならず、他の士会、非会員（有料）の参加を可能とすることで幅広く募り、必要としている人たちに聞いていただけるようにしました。参加者は17名（うち埼玉県士会1名）、託児室利用10名（0～9歳）でした。20～40代の女性が大半でしたが、パパPTの参加もあり、研修会後の交流会にはお子さんと一緒に参加してくださいました。研修会&交流会の様子と、さらに参加者全員よりアンケート記載をしていただきましたので、その結果をご報告させていただきます。ご参加およびご協力くださった皆様、お忙しいところ誠にありがとうございました。

【第一部】「ウイメンズヘルス」

講師：産後リハビリテーション研究会

代表 山崎愛美先生

妊娠・出産を中心にライフステージとホルモンバランスについてお話いただきました。妊娠初期・中期・後期における、妊婦の身体・心とその胎児についてそれぞれどんなことが起きているのかを詳細に教えていただきました。私は以前の職場で、部下に妊娠を告げられたとき、自分に経験がないために十分な対応ができず、退職を留まらせることができなかったことを思い出しました。もし、このお話を聞いていたら、自分の対応が変わっていたかもしれない、もっとかける言葉が違っていたかもしれないと思われました。

【第二部】「ライフ・ワーク・バランス」

講師：神戸国際大学／（一社）WiTHs

ワーク・ライフ・バランスコンサルタント

荒木智子先生

諸外国と比べた日本の現状、理学療法士の現状、そして、目標とする未来像までを語っていただきました。日本人は男女ともに性別分業意識が高い（妻より夫のほうが多く働いて多く稼ぐべき、介護や育児などの問題が起こったとき男性より女性が仕事をあきらめるべき、など）ということでした。その中で女性PTの離職率は3.25%（Dr25%、Nrs11%）と他の医療職と比べて低く、頑張り屋さんが多いのでは、というお話もありました。

また、「見える化」として、①24時間以内にあった良かったこと、②WORKとLIFEにおける理想の生活と現実、③WORKとLIFEにおける理想と現実のギャップおよび打開策を書き出す作業をしました。書き出して見える化し、それを全体でシェアし「何がどうなれば理想に近づけるか」を検討していくことが大切であるということを経験で教えて

くださいました。

・・・・・・・・●ランチ交流会●・・・・・・・・

講師の先生や当部の部員も参加者に交じっての交流会となりました。和室で各自お弁当を持参して行われました。子育てのことなど話せる機会がほとんどないパパPT同士で話が盛り上がっていたり、経験豊富な講師の先生へ女性PTが直接悩みを打ち明けていたりなどが見受けられました。また、お子さんが初めての場所でも緊張することなく、一緒にお昼を食べることができたとのこと、とてもご好評をいただきました。



【アンケート結果 ～自由記載を中心に～】

◆研修会の内容はお役に立ちそうですか

非常にor少し役立ちそう…17名／17名中

◆研修会への意見

- ・やっぱりもう一人、子どもが欲しいと思いました！！
- ・actionを起こしていく勇気と希望をいただきました。
- ・しっかりと将来を考えられる時間となりました。
- ・日々の業務で疲れきっていたが、リフレッシュになった。
- ・見える化、書く作業がすごくよかったです。



- ・男性にも聞いて欲しいと思いました。
- ・時間が足りないくらいでした。
- ◆ランチ交流会は有意義な時間となりましたか
非常にそう思うorそう思う…13名/17名中
- ◆そう思った場合の理由、交流会で話題になったこと
- ・職場では話題にしにくい内容、自分が一番悩んでいることを話すことができた。
- ・自分の職場が恵まれていることが改めて分かった。上司、同僚に感謝したいと思った。
- ・男性の働き方の問題も大きいと改めて感じた。
- ・子ども達と一緒に食事がとれたのがよかったです。
- ・先輩方の復職された際のお話を聞いた。
- ・子育て中のパパの意見や、管理職としての立場の方の話などが聞いて良かったです。
- ・同じ境遇の方々とお話することができてよかったです。また講師の方ともお話できてよかったです。
- ・他の職場の職場環境を聞いたので良かった。
- ・子ども達が安心して過ごせている様子を見ることができてホッとしました。
- ◆託児室設置に関するご意見・ご要望
- ・お子さんたちが楽しそうに遊んでいたの、自分の子ども遊ばせたいと思いました。
- ・継続、拡大して欲しいです。
- ・子育てをしているママPTにとってはありがたい。
- ・今回のようなスタイルを増やしていただきたいです。
- ◆自分にとって仕事を続けていくために必要だと思うことは何ですか
- ・世の中の意識改善。
- ・鈍感力だと今は思っています。
- ・諦めない気持ち、声を出す、行動してみる、周りの人に感謝し、理解してもらえよう話していく。
- ・時間と心のゆとり、働きがい。
- ・周囲の理解と職場の環境、相談しやすい関係づくり。
- ・自分自身の心身の健康とワークバランス。
- ◆今後、研修会で取り上げてほしい内容や、ライフサポート部の活動について
- ・もっとたくさんの人に知ってもらいたい。
- ・PTの職域の紹介。
- ・小1の壁、対策など、様々な病院での取り組みが知りたい。
- ・介護予防。
- ・男性PTの育児休暇、育児事情について。
- ・理学療法士自身のためになる今回のようなテーマの研修会が増えるとありがたい。

今回は対象者を絞ったテーマとしたことで、参加者同士が内容を共有しやすい会になったのではと思います。それでも参加者が17名ということで、まだ、聞いてほしい人に届いていないのではと、もどかしくも思いました。しかし、必要な人に伝わりさえすればこれだけの反響があることも実感します。それが私たちの原動力になります。今後も地道に活動を続けていきたいと改めて思いました。そして、どのような立場の人でも働きやすい職場・環境が増えて欲しいと思います。



ランチ交流会でのお子さんたちの様子

あなたのニーズを

‘かたち’ にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

 (有)木村義肢工作研究所
〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号
TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560



県西地区（二市八町）におけるモニタリング報告

リハビリ手帳作成委員会

平成26年5月から約1年間、県西地区二市八町の13施設の方にご協力いただき、約500部のリハビリ手帳試作版を配布してモニタリングを実施しました。

モニタリング中には、他職種の方を含め、さまざまな意見をいただきました。

リハビリ手帳内の項目数が少ないことや、手帳の運用方法などについての内容でした。

試験運用半年後のアンケートでは、13施設へ依頼し5施設より回答（回収率38.5%）が得られ、アンケート結果から、現場で求められているリハビリ手帳の役割りとして、委員会で当初から検討を重ねていた項目よりも多岐に渡っていることや、使用方法に関する理解が十分でないことが分かりました。

委員会では以上の内容を検討し、リハビリ手帳の持つ大きな意義が、より良いリハビリ実施の連携ツールであることを確認しました。

また、セラピスト間の情報共有や連絡のしやすさを中心に、患者様や利用者様の携帯しやすいサイズを優先しました。

今後、このモニタリングとアンケートを元に、さらに十分内容を協議した上で、リハビリ手帳の運用へ向け活動していきたいと考えています。

今回のモニタリングに協力していただきました各施設の皆様には、多忙な業務の中、本当にありがとうございました。

ご協力いただきました内容について検討し、今後に生かしていきたいと考えております。

（公社）神奈川県理学療法士会 災害対策委員会

神奈川県理学療法士会災害対策委員会 今川 祐子、下田 栄次

災害対策委員会による研修会及びキャラバン、災害訓練への参加についてを報告します。

平成27年9月1日（火）に行われた政府による大規模地震時医療活動訓練に神奈川JRAT（理学療法士会災害対策委員会より2名、作業療法士会災害対策班より1名、言語聴覚士会より1名の計4名）として参加しました。今回の訓練想定は、首都直下地震で、まず等々力競技場内に設置された川崎市災害本部へ行き、川崎市役所で川崎区保健福祉センター医療衛生班と避難所の情報を収集することを任命されました。1人は川崎市役所の本部に残り、3人は区役所職員と一緒に避難所6ヶ所を巡回し、避難所の情報を広域災害救急医療システムへ入力し、本部へ巡回の様子を報告して訓練は終了となりました。行政の方々と一緒に訓練することで顔が見える関係性を作る良い機会となりました。

平成27年9月27日（日）横浜ワールドポーターズにおきまして「災害対策委員会第4回災害対策研修会」が開催されました。今回は、「避難所における生活環境支援」をキーワードに行政とリハビリテーション関連職との連携について検討することを目的としました。横浜市 総務局 危機管理課 事業推進担当課長 岸本弘之氏より、横浜市の災害医療支援体制における地域防災拠点の位置づけから避難所の設営方法や運営について、段ボールベッドの開発者でもある株式会社Jパックス 代表取締役 水谷嘉浩氏より段ボールベッドを導入

した避難所生活支援の取り組みや、今年の9月の関東豪雨水害の際に、茨城県の避難所に段ボールベッドを導入された経験も踏まえてお話し頂きました。今回の講義では段ボールベッドを展示し、後半は実技としてご参加いただいた方々に段ボールベッドを展開して頂き、見て触れて寝てみるといった体験型の研修としました。段ボールベッドを実際に初めて目にする方も多く、大変学びの多い機会となりました。

平成27年11月15日（日）新百合ヶ丘総合病院におきまして「災害対策委員会 川崎北部地区災害対策キャラバン」が開催されました。川崎市役所の総務局 危機管理室 啓発予防担当係長 早川雄大氏より大規模災害時の避難者が13万人を超えると試算される川崎市における防災計画から、災害時の医療支援体制や要援護者対策について、健康福祉局 健康増進課 担当係長 鮫島あゆみ氏より保健師の具体的な平時の地域保健活動からリハビリテーションとの連携について、川崎中部リハビリテーションセンターの松田梓氏からは実際に（公社）日本理学療法士協会一次派遣隊として陸前高田や石巻で災害支援ボランティアとして活動した経験より、平時からの顔の見える関係性づくりが災害時のみならず地域包括ケアシステムにも直結する事の重要性をお話し頂きました。今回も多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。また、お手伝いして頂いた方々にも感謝致します。

今後も災害対策研修会と災害対策キャラバンを予定していますので、より多くの方々のご参加をお願い致します。



第33回 神奈川県理学療法士学会 —プログラムと準備の進捗状況 (3)—

昨年12月より第33回神奈川県理学療法士学会準備委員会を結成し、一年間かけて一つひとつ準備を進めて参りました。県士会ニュース誌上では、今回が学会開催前の最後のご報告となります。

学会テーマ

「症例報告～一人の患者さん・利用者さんに対してじっくり考えよう」

演題発表（口述・ポスター）106演題

学会の肝となる口述・ポスター発表には、106演題という多くの演題登録をいただきました。日頃の観察、経験から生まれた課題や疑問など、発表者とともに皆で考え、意見交換し、ぜひそれぞれの現場でのヒントにつなげていただきたいと思います。

様々な企画をオール神奈川の講師陣で構成

- 1) 教育講演
「生涯学習における症例検討・報告の重要性について」
- 2) 県民公開講座
「元気は自分でつくる。限界も自分でつくる。－その限界を壊して、可能性を信じて－」
- 3) 臨床教育シンポジウム
「実習生・実習指導者のための臨床実習教育について考える－養成校・実習受け入れ施設の今を知り、未来を語る!!」
- 4) 地域症例リレー
「平塚市におけるリハビリテーション連携」
- 5) ハンズオンセミナー
「軟部組織モビライゼーション－肩関節を中心に－」
「認知神経リハビリテーションを体験しよう」
- 6) 特別企画
「組織強化について」
「地域包括ケアシステムに向けた取り組みについて」
「災害対策委員会の活動について」
- 7) 特別講演
「かながわ県民の健康と生活を支える職能団体であるために」
- 8) 研究支援部主催講演
「近年の筋生理学のトピックスをどう臨床に生かすか－クリニカルリーズニングと症例報告－」
- 9) 健康チェック（一般県民向け）

事前登録が必要となるもの

- 1) ハンズオンセミナー
実技参加には定員が設けられており、事前登録制となります。軟部組織モビライゼーションは20名、認知神経リハビリテーションは32名が定員です。（聴講のみ

の場合、事前登録は必要ありません）

- 2) キッズルーム（託児所）
初めての方でも安心してご利用いただける環境です。お子様のいる方も、学会参加をあきらめることなく、キッズルームをご活用いただければと思います。
- 3) 当日運営委員
学会当日の運営にご協力いただける会員を募集いたします。ぜひ皆様のお力をお貸しください。
※ 募集期間などの詳細は、簡易プログラム集と学会ホームページをご参照ください。

注意事項

- 1) 学会へのご参加には、協会会員証をお持ちください。
- 2) 当日は会場周辺で横浜マラソン2016が開催され、交通規制がかかります。ご来場の際は十分ご注意ください。（詳細はホームページ等でご確認ください。）

準備委員長から一言

学会開催まで2ヵ月、皆様も次年度に向け忙しい頃ではないでしょうか？ ですが、こんな時だからこそ少し立ち止まり、自分たちの成果を振り返ってみませんか？

今学会テーマは「症例報告」です。目の前の理学療法から県士会活動まで、幅広い内容の報告が集まりました。お忙しい中、ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。これら日々の取り組みや活動を共有することは、我々理学療法士にとってとても大切なことであると思います。演題発表以外にも、教育講演や県民公開講座、シンポジウムなど第一線で活躍されている講師陣による企画も目白押しです。ぜひ当日は会場まで足を運んでいただき、理学療法について一緒に考えましょう！

最新情報は今後も随時、更新して参ります！

学会に関する最新情報は、随時更新して参ります。年明けには簡易プログラム集も皆さまのもとに郵送される予定ですので、併せてご利用いただければと思います。

多くの一般県民、他職種の方々にもご参加いただける学会にしたい思いしております。ぜひ、身近なの方々にもお声掛けいただけますよう、よろしくお願いたします。

<学会HP <http://congress-kpta.jimdo.com/>>

【開催日時】平成28年3月13日（日） 9:00～18:00

【開催場所】パシフィコ横浜 3階

※終了後、同会場にて事業意見交換会（レセプション）も予定されています。



News

主催：公益社団法人 日本理学療法士協会 関東甲信越ブロック協議会
担当：公益社団法人 神奈川県理学療法士会



第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会のお知らせ

おかげさまで**35周年** 今年は **神奈川** が担当します



会 期 2016年10月29日 (土) ~ 30日 (日)

会 場 パシフィコ横浜

学 会 長 **林 克郎**

横浜リハビリテーション専門学校
神奈川県理学療法士会会長

副 学 会 長 **小山理恵子**
準備委員長

鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院

テーマ

生き生きと、活き活きと、粹々と

— 2020年、2025年への展望 —

求む、演題！！

演題登録期間：2016年3月23日(水)~4月27日(水)

新人・ベテラン 問わず、

多くの演題を募集します

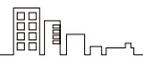
発表形式：

- ・口述発表 (一般演題, 症例報告)
- ・ポスター発表 (一般演題, 症例報告, フレッシュマン)

詳細は本会ホームページを参照ください。

<http://kanburo35.umin.jp>

賛助会員の紹介



WHILL 株式会社

〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-1-40 F 区画

WHILL は高い機能性とデザイン性を兼ね備えた「次世代電動車いす」です。走行性能としては、「四輪駆動」と24個の小さなタイヤで構成された「オムニホイール（前輪）」により、凸凹道や未舗装路、7.5cmの段差乗り越えや、その場回転に近い回転性があります。また iPhone アプリにより遠隔操作・スピード調整ができることも電動車いすの可能性を拡げています。さらに移乗時は、跳ね上げ式のアームとフットサポート、前後15cmシートスライドにより利便性を高めています。オプションにより、バックサポートの変更にも対応し、対象者は杖を利用して歩行される方から頸椎

損傷Cレベルの方まで様々です。介護保険への対応や、補装具費支給制度使用の実例もあるため、多くの高齢者、障害者の方にもお使い頂いています。お身体の状況に関わらず、乗ること自体を楽しめる乗り物、それが次世代電動車いす WHILL です。



東洋羽毛首都圏販売(株) 横浜営業所

神奈川県横浜市旭区今宿西町 1952-1

なぜ?ふとん?

簡単に、私共東洋羽毛(株)の紹介をさせていただきます。私共東洋羽毛は、日本で初めて羽毛布団の製造、販売を始めた会社です。日本の羽毛ふとんの歴史は東洋羽毛といっても過言ではありません。また皆様ご存知の「赤い羽根」、この「赤い羽根」の考案に参画し、供給したのも東洋羽毛です。そして4年前話題となった木村拓哉さん主演のドラマ「南極大陸」。第一次隊から今、現在に至るまで南極観測隊の羽毛服、シュラフには私共東洋羽毛の羽毛が使われ続けています。ではなぜ医療現場に…? 57年前、

病院の当直用のふとんとして納入したのがきっかけとなりました。その品質が認められ、推奨品の認定を受けることとなります。その後、過酷な仕事であり、不規則な生活を送る医療現場の皆様が、「明日を笑顔で元気に」迎えるために、自宅で使う寝具として推薦されるようになりました。人生の1/3はおふとんの中…。ぐっすりが一番の薬です。今も、そしてこれからも皆様が輝きつづけるために、私たちはやさしい眠りで皆様をサポートし続けます。



日本ウイール・チェア株式会社



日本ウイール・チェア(株)では、創業以来およそ50年にわたりオーダーメイド車いすを中心に、お客様の積極的な社会参加のお手伝いをさせていただいてまいりました。お客様と密接に関わってきたその経験や知識を生かしつつ、介護保険レンタル事業や座位保持装置製作と活動の幅を広げております。車いすと福祉用具を通じて皆様のお役にしたいという思いのもと、より多くのお客様へのより密接なお手伝いをこれからも目指してまいります。



〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730



研修会・講習会

●県士会主催

臨床実習教育部主催 研修会のご案内

テーマ：臨床実習指導入門～臨床実習指導の進め方～
内容：今回の研修会は、テーマを「臨床実習入門～臨床実習指導の進め方～」といたしました。実習生を受け入れる際の事前準備や、実習開始後の実習の展開方法や学生への指導方法など、具体的な臨床実習の進め方について、ご講演をいただきます。特に、実習生の指導経験が少ない方や他施設での指導方法を知りたいという方には、大変参考になる内容です。多数のご参加をお待ちしております。

講師：松葉 好子先生（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）
開催日時：平成 28 年 2 月 7 日（日）13 時～16 時
 （受付開始 12：30～）

会場名：相模原市立市民・大学交流センター
 ユニコムプラザさがみはら セミナールーム 2
 （〒252-0303 相模原市南区相模大野 3-3-2 bono 相模大野サウスモール 3 階 小田急線 相模大野駅下車）

参加費：無料
対象者：（公社）神奈川県理学療法士会会員
単位認定：履修ポイントの最新情報については、本会ホームページで確認してください。
申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 web 登録をお願い致します。
 神奈川県理学療法士会ウェブサイト [講習会・研修会・イベント情報] をご参照ください。

定員：100 名
登録期間：平成 27 年 12 月 1 日（火）～平成 28 年 1 月 24 日（日）
お問合せ：E-mail: rinsho-jisshu@pt-kanagawa.or.jp
 臨床実習教育部長 坂本美喜（北里大学医療衛生学部）

国際医療福祉大学大学院公開講座 乃木坂スクール # 16 「力学的視点から捉えた装具療法」

片麻痺者のリハビリテーションにおける装具と運動療法の役割を力学的視点から解説します。近年、使用が増加しているロッカー機能を補助する装具を中心に装具の機能と歩行の関係を 3 次元動作分析装置による動画とビデオを併用してわかりやすく解説します。臨床現場で働く理学療法士が装具の選択や調整、装具を使用した歩行練習をする際に活用できる知識を伝えることを目的としています。

開催日時：2016 年 2 月 28 日（日）10 時～16 時
会場名：国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス
 （東京都港区南青山 1-3-3 青山一丁目タワー 5F）
 （地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線
 青山一丁目駅 3 番出口から徒歩 2 分）

講師：山本澄子（国際医療福祉大学大学院 教授）
 溝部朋文・中西和正
 （横浜市立脳卒中・神経脊椎センター理学療法士）

司会：萩原章由
 （横浜市立脳卒中・神経脊椎センター理学療法士）

申込料：10,000 円
 ※本学修了生・卒業生の方は別途事務局へお問い合わせください。

定員：100 名

お問合せ：国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス
 乃木坂スクール事務局
 〒107-0062 東京都港区南青山 1-3-3
 青山一丁目タワー 4F
 TEL：03-6406-8621 FAX：03-6406-8622
 E-mail：nogizaka@iuhw.ac.jp

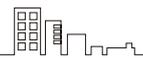
○本講習会は、公益社団法人日本理学療法士協会の専門理学療法士制度ポイント認定講習会です。

【認定領域】神経理学療法専門分野 神経（全領域） / 生活環境支援理学療法専門分野 生活（補装具）

【認証ポイント】5 ポイント

<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/nogizaka/>





●他団体

【触診が不安な方の為の】筋の触診セミナー基礎編／骨の触診セミナー基礎編

内容		日程
【触診が不安な方の為の】 筋の触診セミナー【基礎編】	大腰筋、実は簡単に触れるのをご存知ですか？ 多裂筋もある部分では体表から触れるんです。 少人数制であなたも触れるようになり筋膜のリリースまでできるようになる筋の触診セミナー基礎編 ・触診が効果的にできるためのコアマッスルの活性化:横隔膜・腹横筋・骨盤底筋・多裂筋 ・治療につなげる触診:最長筋、腸肋筋、多裂筋、大腰筋 ・筋膜リリース:大腰筋、多裂筋	第1回 2月21日(日) 第2回 3月26日(土) 第3回 4月24日(日) 9時30分～16時30分(昼休憩1時間) ※内容は全て同じです。ご都合のつく回にお申込みください。 ※平成28年内は再受講無料です。
【触診が不安な方の為の】 骨の触診セミナー【基礎編】	脊柱の棘突起触れますか？ アライメントの評価に必須のポイントです。少人数制であなたも棘突起が触れるようになりモビライゼーションまでできるようになる骨の基礎編 ・触診が効果的にできるための7つのコツ ・触診のための手のコンディショニング ・触診のための股関節のコンディショニング ・治療につなげる触診:上後腸骨棘、腸骨稜、頸椎～腰椎棘突起 ・棘突起の触診を使った関節モビライゼーション	第1回 1月24日(日) 第2回 3月27日(日) 第3回 4月23日(土) 全て9時30分～16時30分(昼休憩1時間) ※内容は全て同じです。ご都合のつく回にお申込みください。 ※平成28年内は再受講無料です。

受講者特典：・セミナー動画
・触察チャート

会場：ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー
〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー内
(<http://www.yokohamashakyo.jp/willing/s-14-1-1.html>)

受講料：7,800円

講師：大塚 久、山崎 瞬

定員：24名限定(触診部位を講師が一人ひとり確認するため少人数にしています。)

注意事項：お申込みは セミナーHP
<http://lts-seminar.jp/h28seminar/>
または

・氏名、・所属、・経験年数、・職種、・電話番号、・メールアドレスをご記入の上(lts-info@lts-seminar.jp)までご連絡ください。

お問合せ：療法士活性化委員会 大塚



Gift

オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730



そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願ひします。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

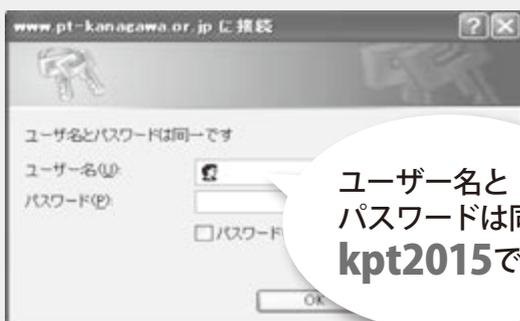
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

アクセス認証が変更です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

スポーツ現場 の 独り言 (7)

スポーツ医科学と公平性： ロシア陸上界のドーピング問題から考える

この冬はリオ五輪直前ということで、競技現場では強化合宿や選考会、また五輪予選などとひととき忙しい4年に1度の季節になっています。

そんな中、少し前まで現場の話題はロシア陸連を発端としたドーピング疑惑の話題で持ちきりでした。連盟の組織的な関与、政治の介入、また公平性を保つべき検査機関までもが汚職対象であったことなど、未だ全貌が明るみにはなっていませんが非常にショッキングな報道がなされました。

さて、なぜドーピングがスポーツで問題になるのでしょうか。勿論わたくしもドーピングには反対ですが、その根拠について、今一度考える必要があると思っています。

世界アンチ・ドーピング機構（WADA）のキャッチフレーズは「Play True」、つまり「フェアプレイ精神を護ることでスポーツの価値を護り発展しよう」というものです。これは素晴らしいことだと思うのですが、しかし医科学スタッフの立場から世界のスポーツに携わると、少し違った観点が生まれてきました。

そもそも、多くの海外の選手と日本人選手の決定的違いは、スポーツに対する取り組み、あるいは勝利に対する欲求の深さであると考えています。勿論、経済的に苦しい地域の選手が死に物狂いで成功を夢見て頑張るといった南北問題を基盤とした背景もあるかとは思いますが、しかし基本的に海外の選手は勝利に対するモチベーションが極めて高く、日本人のそれと比較にならないほどです。農耕民族と狩猟民族の差と言ってしまうとそれまでですが、彼らは勝利のためであれば手段を択ばずにトレーニングを行い、ルールを範疇ぎりぎりまでプレーするわけです。

それほどに勝つことに対する執念が全く違います。

もし審判が見えていないところで選手が反則を犯したとしましょう。日本であればそれは卑怯な行為でフェアプレイ精神に反するということになるのですが、国際的に見ればそれもスポーツの一部であり、審判が反則をコールしなければ反則ではないという考え方が一般的でしょう。そのために審判がいるのですから。たぶん日本では草野球に審判がいなくても試合が成立するかもしれませんが、そんな国はたぶん日本だけです。世界の常識では審判がない試合は成立しないのです。

そんな競技環境の中では、選手とコーチを放っておいたら死にそうなくらいトレーニングして壊れるまでプレーしてしまう可能性があります。そこで、ルールを決めてその範囲内で勝負を決めましょうという約束が近代スポーツのルーツです。ですから、このルールの中にアンチ・ドーピングも含まれているわけです。つまり、選手の健康と命を守るためにドーピング違反を厳しく罰する必要があるのです。もし公平性ということであれば、みんながドーピングを行えばそれはそれで公平なわけですから。それよりも、選手を守ることが重要視されなければいけないと考えているのです。だから、今回の問題ももしロシアが黒だとして、その不公平性を問題視する前にロシア選手の健康被害に心を向ける必要があると思うのです。

スポーツ医科学の立場もこの問題と全く同じ文脈で考えることができます。本来、スポーツ医科学はアンチ・ドーピングと同じく選手を守るためにあるべきです。選手が壊れてしまうリスクがあるからこそ、トレーニングを制限し、より効率的かつ安全な方法を研究するというのが本来の立ち位置だと思います。しかし、日本ではむしろ頑張らない選手を頑張らせるために指導者が医科学を利用し、あるいは選手も医科学の力で良く言えば効率よく、しかし悪く言えば楽に勝てると思っている節があります。これは全く本末転倒な話です。

この考え方のギャップを理解しない限り、日本人は国際舞台で活躍できないのだと思いますし、逆に言えば我々はそういう環境でもフェアプレイ精神で戦い勝つことが必要なのだと思います。

独立行政法人日本スポーツ振興センター

マルチサポート事業部 小泉圭介

編集後記

皆さんは論文を執筆したことがありますか？恥ずかしながら、私は大学教員でありながら、筆頭著者として原著論文を執筆したことはありません。学会発表は行っても、論文執筆となると多忙を言い訳に、いつも挫折してきました。そんな中、先日「できる研究者の論文生産術—どうすればたくさん書けるのか—」という書籍に触れました。これはノースカロライナ大学グリーンズボロ校のPaul J. Silvia准教授の著書「How to Write a Lot」の訳本です。この書籍のメッセージは明快で、「計画を立てて、それを守りなさい。」というものでした。私はこの書籍を読み、「たくさん論文を書いているのは能力が高い人か、執筆時間を十分確保できる人のどちらかだろう。」という自分の考えは甘えであると悟りました。執筆が大変なのは皆同じで、要は計画通りに実行する意志の強さがあるかどうかだと思います。私は今年こそ「きちんと計画を立てて実行すれば、自分にもできる！」という意気込みで、筆頭著者として原著論文を執筆し、アクセプトされるようにしたいと思っています。1月は目標を立てるのに最適な月です。私のように学会発表までで終わっている方！今年こそ論文を書いてみませんか？ (大村)

次号の原稿締め切りは平成28年**3月6日**です。
 国際医療福祉大学小田原保健医療学部(ニュース編集部宛)
news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp
 〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

◆ニュース編集部員◆

担当理事：坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
 部長：渡邊観世子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 部員：今井 祐子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 大村 優慈 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 金子 達也 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)



TVで紹介の“足こぎ車いす”

ショールーム 横浜そごう 9階 (横浜駅徒歩2分)

■お問い合わせ 0120-12-6186 (営業時間 10:00~20:00)

 **神奈川県ロイヤル株式会社**

〒220-0011 横浜市西区高島 2-18-1
 TEL: 045-440-3911 FAX: 045-440-3912